

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子準決勝】B球場(松山中央公園南) 第3試合 重信中学校(愛媛県) VS 上分中学校(高知県)

重信中 投打に力強さ、2年ぶり日本一に王手!!

上分中 先制されリズムに乗れず!



＜重信中 1回1死2塁、八木が左越えに3塁打を放ち先制する＞



＜上分中 2回裏、西森が八木の速球を捉えるもライトライナーに倒れる＞

平成26年8月20日(水)

13:55 ~ 15:00

球審:佐賀 一塁:越智 二塁:佐々木啓 三塁:大沢

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
重信中学校(愛媛県)	2	0	2	7						11
上分中学校(高知県)	0	0	0	0						0

【バッテリー】

＜先攻＞(重) ○八木 琢磨 - 太田 篤志

＜後攻＞(上) ●西森 竜也, 明神 竜也 - 青木 優輝

【長打】

＜本塁打＞

＜三塁打＞ 八木 琢磨(重)

＜二塁打＞ 八木 琢磨(重)

【戦評】

四国勢同士の戦いは、地元重信中が終始上分中を圧倒し、2年ぶりの全国制覇に王手をかけた。重信中は初回、先頭の太田が内野安打で出塁すると、永井が手堅く犠打を決め、1死2塁。続く八木は左越えに3塁打を放ち、まず1点先制。さらに4番の坂本雄が中前にタイムリーをはじき返し、2点を先制した。その後も打線が途切れず、常に攻撃の手を緩めることはなかった。投げては八木が4回コールドとはいえ、無安打に抑える好投。ストレートに力があった。

上分中は初回、1死1、2塁の好機にこれまでチームをけん引してきた青木優が三振に倒れ、波に乗れなかった。

【勝者インタビュー】

監督談

最初からねらい球をしぼり、初回到連打で得点できたのが大きかった。ピッチャーも相手を無安打に抑え、終始うちのペースで試合ができた。この流れを明日につなげ、地元開催での優勝を目指したい。

主将談

チーム全員一つにまとまって声を出し、集中して試合ができたのが勝因。連打や相手のミスにつけ込む走塁で得点を重ねたことが大きかった。明日は絶対優勝します。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!